



# 紺 碧

調布稲門会 会報

2014.1 No. 39号

事務局 調布市若葉町 2-22-10

元木 勇 気付

Tel 03-3300-4554

Fax 03-3300-8728

編集責任者 五十嵐真 高原浩

## 会員増強と同好会のさらなる活性化を――新年にあたって

会長 元木 勇 (昭37政経)

新年明けましておめでとうございます。会員・準会員の皆様には2014年の新年をお元気で迎えのことと、お慶び申し上げます。昨年世相を表す漢字に「輪」が選ばれ、2020年の東京五輪・パラリンピ

ックの開催決定や各地で相次いだ台風被害・東日本大震災への支援の輪が主な理由とのこと。

調布のまちは今、大きく変わろうとしています。京王線の地下化が実現し、駅前広場や鉄道広場や鉄道敷地の整備

がいよいよ始まろうとしています。これらの大きな変革が私たち市民一人ひとりの幸せにつながらなければなりません。さて昨年12月8日(日)に開催されました恒例の調布市福祉バザーでは、たくさんの品物をご提供頂き、皆様には心より感謝申し上げます。火を使つての「焼き餃子」は今回も大変評判がよく、そのうえに今回は調布市在住の現役早大生へのバザー参加呼びかけ、また早大の学生サークル「踊り侍」の演舞という新しい試みにも挑戦しました。ステージも盛り上がり調布稲門会の存在を大いにア

ピールできたと評価できると思います。大学校友会にもこの点を強くアピールしたいと思います。幸いにも当日は好天気にも恵まれ、盛況裡に終了することができ、売上金から87,673円を社会福祉協議会に寄

付することができました。これもひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物と重ねて厚く御礼申し上げます。

調布稲門会の目的はご承知の通り、  
①会員相互の親睦  
②地域社会への貢献  
③母校早稲田大学の発展に寄与する――ことです。

スポーツや趣味を通し、先輩、後輩が顔を合わせ親睦を深める絶好の機会でもあります。同好会活動が10あるのでぜひ参加して楽しんで下さい。

また会員増強も今年の重要課題の一つであり、一人でも多くのお知り合いの方を誘って一緒に参加して頂けるように働きかけて下さい。最後に今後とも調布稲門会に対してご支援、ご協力、ご指導のほど、よろしく願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。(写真は昨秋の味スタ・東京国体開会式―石井宏和撮影)



## 「踊り侍」のパフォーマンスで盛り上げるー調布市福祉まつり

福祉まつり担当 岡田 文男（昭49理工）

平成25年12月8日、調布市役所前庭にて、『第36回調布市福祉まつり』が開催され、調布稲門会は今回もバザーに参加しました。福祉まつりは、福祉への理解を深め、福祉活動への市民参加・交流を図るとともに、社会福祉活動を支援することを目的に、毎年12月上旬に開催されています。

家庭で眠ったままの贈答品、使用予定のない衣類や書籍、日用雑貨類などを校友、ご近所の方から寄付して頂き、バザーで販売します。バザーの収益金は、調布市社会福祉協議会を通じて福祉団体や福祉施設・作業所に寄付しています。

バザー前日、校友が経営する養護老人ホーム「爽爽荘（そうそうそう）」のホールを作業場所として提供して頂き、集められた大量の品々を幹事中心に十数人がかりで分類、値踏みして値札を品物に付け、バザーに備えました。

バザー当日は冷え込み、北風の冷たい朝でしたが、朝7時30分にみんな元気に集合。爽爽荘からバザー会場への品物の搬入、模擬店の設営、販売品の陳列等の準備作業でてんでこ舞いの忙しさでした。何とか午前9時30分の販売開始にこぎ着けました。

今回、新たな試みとして、大学校友会から調布市在住の在学生に参加要請のメールで呼びかけたところ、教育学部3年生の女子学生、山本薫さんが参加して下さり、バザー販売を手伝って頂きました。

また5月の総会にお招きした現役早大生の学生サークル「踊り侍」に再び来て頂き、ステージで勇壮な「よさこい踊り」を披露してもらいました。激しいパフォーマンスに観客の方々は圧倒され、冷たい風も吹き飛ばす勢いでした。ステージの最前列に2、3歳の3人の女の子が一緒になって飛び跳ねて踊っ

ている姿が可愛らしく、大変印象に残りました。

恒例の焼き餃子の販売では、ちょっとしたトラブルが発生。朝、届いているはずの冷凍餃子が届かず、搬入が大分遅れてしまいました。おまけにカセットガスコンロの火力が弱くて、火が風邪にあおられてしまい、餃子がうまく焼けない。急きょ火力の強いカセットガスコンロを最寄りのスーパーで購入してなんとか急場をしのぎました。ただその後の作業は順調に進み、焼きたての餃子は好評で売れ行きも上々でした。

昼過ぎには撤収作業を始める他のお店もありましたが、私たちはあきらめずに午後2時30分まで販売を継続。その後、後片付けをして三本締めをして散会しました。

有志の方はその後、西調布の居酒屋「まつり」に集って打ち上げ会を開き、今回の反省とともに、「来年はああしよう」、「こうしよう」と活発で建設的な意見を交わし、皆さん熱い議論を楽しみました。

早朝のお店の設営・準備から夕刻の後片付けまで関係者全員で頑張った結果、バザーおよび餃子販売の収益金は87,673円となり、社会福祉協議会に寄付することができました。バザーに品々を提供して頂いた校友の皆様は改めて厚く御礼申し上げます。

ただバザーへの提供品はこのところ質、量とも低下、減少の感が否めないで、次回（平成26年）はさらなるご理解とご協力を頂きたくお願い申し上げます。今回はいつもの物販のお店だけでなく、現役学生参加によるパフォーマンスなどのプラスアルファもあり、調布稲門会の活動目的の一つである『地域社会への貢献』に例年以上に寄与できたものと自負しています。

## 色彩あふれる見事な演出に魅了—一味スタ国体開会式

石井宏和（昭42政経・昭45商研）

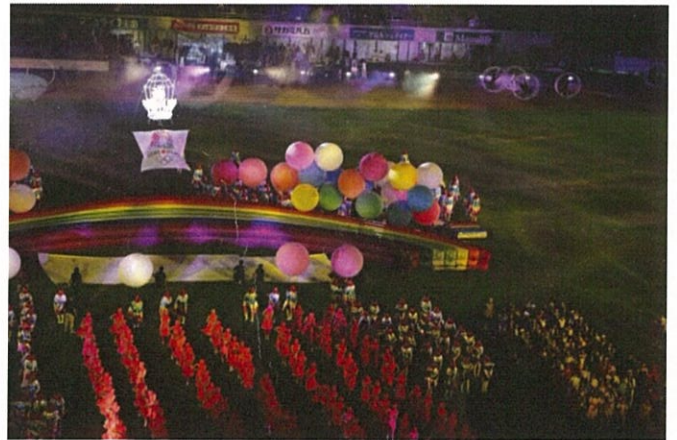
国民体育大会が54年ぶりに東京で、しかも地元調布の味の素スタジアムで開会式が開催されると聞き、東京都のWEBサイトから申し込みをしてみました。くじ運の悪い小生にも珍しく当選の通知が舞い込みました。後で聞くとところによれば長友調布市長が地元調布市民に特別枠を増設するよう都に要望したとか。それで納得しました。

2013年9月28日（土）が開会式当日。直前の9月8日には2020年東京オリンピックが正式決定され祝賀ムードが高まるベストタイミングでの開会式となりました。天も味方し快晴のスポーツ日和です。この開会式は東京オリンピックのミニ予行演習を兼ねているというわき通り、入場者チェックの厳しさは本人確認や持ち物検査などで航空機搭乗時のそれをはるかに超え、会場周辺の警備体制も各県警から応援を求めるなどきわめて厳重なものでした。

天皇・皇后両陛下をお迎えしての午後5時からの式典で雰囲気は一気にクライマックスに達しました。選手団入場、炬火（たいまつ）入場。そして点火のころスタジアムの空が夕焼けに染まるなか、上空に飛来した航空自衛隊「ブルーインパルス」の見事な編隊飛行とその轟音に圧倒されました。前回の1964年（昭和39年）東京オリンピックの開会式を思い出

しました。

選手団退場後の式典演技「未来からきた手紙」では、大勢の都内の中学・高校・大学生による息の合ったダンスが色彩あふれる照明の下、花火を組み込んだ見事な演出で観客を魅了しました。



一度退席された両陛下も再着席され、風が出て少し寒くなっているにもかかわらず最後まで拍手を送られていました。

「7年後の東京オリンピックでも調布市が何らかの形でも関わっていききたい」という長友調布市長の想いがなんとか叶うように祈るばかりの一日でもありました。

## 雨もまたよし—2013 稲門祭

中野慶子（昭50教育）

2001年、それまでの「校友大会」改め「稲門祭」がスタートしてから2013年は第13回になります。例年、午前中にホームカミングデイの記念式典が開かれ、午後からは大隈庭園がにぎやかになります。

三多摩支部では模擬店を開催、調布稲門会も「お茶」を販売してきました。暑い日にはよく売れたのですが、今回は一日中の雨で大変な一日になってしまいました。10月20日（日）に開催されたのですが、

例年とちがい雨の影響で寒く、お茶の販売は不振でした。稲城の梨などの生ものは完売しなくてはならないので、同行した山田和子さんも私も梨とお茶を買って販売に貢献しました。毎年稲門祭の日に会うことにしている、私のかつて所属した「軟式庭球同好会」の仲間も、梨を見せたところ立派な梨なので全員で買いに行ってくれ、中には一人で4個も買ってくれた人もいました。この天候でお茶はあまり売

れませんでした、梨は完売したとのことでした。

例年、私たちは大隈庭園でシートを敷いて楽しく過ごすのですが、今回は寒いので高田馬場駅近くの店での宴会となりました。

今回の稲門会の目玉は「1975年次（昭和50年次）稲門会」企画によるパネル討論会「早稲田新生」。パネリストとして下村文部科学大臣、鎌田総長、熊谷千葉市長、映像ジャーナリストの熊谷博子さん、クラブ経営の白坂亜紀さんをお迎えし、司会進行は同

年次のNHKアナ三宅民夫さんにやって頂きました。

そのほか田原総一郎さんの大隈塾稲門祭スペシャル（福沢諭吉記念文明塾とのコラボレーション、ゲスト堀江貴文氏）、森繁久彌さんをしのんで歌・朗読でその足跡をたどる生誕100周年企画、さらには想定外でも安全へ「みんなの安心空間」大座談会、人気のスポーツ企画「野球のこころ」、稲門音楽祭など雨にもかかわらず大いに盛り上がりました。

## 我らの同好会活動のコーナー

### 三田会と合同カラオケ会も（カラオケ同好会）

代表 小笠原忠八郎（昭40商）

調布稲門会カラオケ同好会の歴史は約20年になります。当時、私は津田先輩から「君、後をやってくれないか」と頼まれ、まるで柔道部の先輩に言われたような感じで引き受けました。

当時、私が一番若い稲門会の会員だったと思いますが、いまでも「君、何々さんやってくれませんか」と言われ、ハイハイと受ける幹事さんが多くいることは良いことではないでしょうか。若い人にいろいろとお世話をお願いすることを続けられる雰囲気になると会も発展すると思います。

カラオケ同好会のメンバーは現在、20人くらいです。歌がうまい、好きなだけでなく、先輩、後輩のコミュニケーションを図る良いチャンスと思うので積極的に参加を期待しています。

カラオケ同好会は現状では年3回、稲門会の新年

会、総会、暑気払いのタイミングでの3回しかありませんが、今後はもっと内容を充実し回数も増やしたいと考えています。

今回、岡田幹事のご尽力で三田会と合同カラオケ会をする話があり、実現しようと思っています。聞きますと会費は三田会4千円、稲門会2千円。このギャップをどのように埋めようかと腐心しているところです。

稲門会の若手の新会員募集に、同好会がお役に立てれば幸いです。歌がうまくなりたいと思う人のためにはプロを先生として呼ぼうとも考えています。会費的には小額のお礼で済ませることが出来ます。年6～7回のカラオケ会を新しい企画でぜひ実現したいと思っています。ご協力をお願いします。

### マージャンは頭の体操（麻雀同好会）

代表 濁川寿次（昭42理工）

麻雀同好会は調布稲門会が発足当時からある同好会のひとつで、初期の頃はメンバーが40人程度おり、大会時には参加者が16～20人にもなり、4～5卓も場が立って大変盛況でした。しかし近年は入会者が少ないうえに高齢化のため脱会者が増え、現会員は

25人まで減りました。大会となりますと12人（3卓）がやっとです。一昨年（平成24年）の9月には開催予定日直前で4人（1卓）しか参加者が揃えられず、やむを得ず中止したような有様でした。

このため会員諸兄、諸姉からは「麻雀同好会はど

うした」とのお叱りを受けましたが、お蔭様で昨年（平成25年）9月14日（土）にはなんとか4卓で開催することができました。その結果は、1位野部さん、2位椎原さん、3位川岸さんで、ちなみに野部さんは初参加しかもパーフェクト勝利（4回戦ともオール1位）でした。

麻雀は賭け事と言われていますが、推理を働かせ、確率を考え、読み比べるゲームです。ただその局面

においていくら確率が高いといえ必ず勝つとはいえ、たった一牌の当りしかなくても勝つ場合があり、ここに面白さがあるのでしょう。

今回は今年（平成26年）3月の開催を予定しております。麻雀は手、腕の運動および頭の体操になります。興味のある方はぜひご参加下さい。楽しい半日を過ごそうではありませんか。

## 国際交流に寄与——マシフラさんのウズベキスタン講座

「語ろうアースカフェ」世話人山田和子（昭49文）

平成25年度から活動を開始したサークル「語ろうアースカフェ」の初企画「マシフラさんのウズベキスタン講座」（全6回／隔月開催）が2013年10月7日（月）にスタートしました。第2回講座（12月2日）終了時点での参加登録者は79人（定員100人）です。登録者は稲門会の会員・準会員と、調布市報等で一般募集した近隣在住者です。

マシフラさんの講義は、まず彼女の流暢な日本語に驚かされます。ウズベキスタン紹介の映像を使い、そして個人的なエピソードを交えながらの楽しく、分かり易く、内容の濃い講義です。2時間の講義が瞬く間に過ぎてしまいます。

第1回講義の最後には、民族衣装に身を包み、ウズベクダンスを披露してくれました。また今年4月の第4回講座では、彼女のウズベキスタンの子守唄が聴けます。

第2回講座開催時には、早大のWaseda-net portalを通じ、調布市在住の学生・留学生に向けて講座の参加案内を掲載して頂きました。この案内での参加者は残念ながらありませんでしたが、今後も毎回、掲載をお願いすることにしています。第2回講座には幸いにも近隣の大学生や20代の若い参加者が加わってきました。

第3回講座（2月3日）は学生の参加し易い時期に当たるため、彼らの参加を大いに期待しているところです。

第4回講座以降のスケジュールは下記の通りです。

第4回 4月7日（月）

ウズベキスタンの特徴「地域共同体・マハッラ」

第5回 6月2日（月）

ウズベキスタンの歴史と現状「光と影」

第6回 7月7日（月）

ウズベキスタンの経済「一次産業主体からの脱皮」

時間 14:00～16:00

場所 調布市文化会館8階映像シアター

費用 各回1,000円

問合せ先・申し込み先 山田和子

電話/Fax: 042-488-0741

E-mail: [kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp](mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp)

毎回独立したテーマです。1回のみ参加も可能です。参加ご希望の方はご連絡下さい。

「語ろうアースカフェ」世話人一同（5人）は、近隣の留学生、学生そして各世代の交流がより良い形となるよう努力を続けています。今回の講座のご参加が難しい方でも「語ろうアースカフェ」の活動にご興味のある方はぜひご連絡下さい。

## 品川ーその歴史めぐりと水族館を楽しむ (ワングル同好会)

代表 石倉 毅 (昭36理工) 天野凡子 (昭和56文)

ワングル活動の主な目的は「山野を歩いて自然に親しむとともに心身を鍛える」ですが、今回(2013年7月13日)は盛夏でもあり、品川区立「品川歴史館」と「しながわ水族館」の2カ所のインドア巡りとした。

資料によれば、江戸幕府が開府して間もなく江戸と京都を結び東海道の計53カ所の宿駅・伝馬制度を制定した。品川宿は東海道の初駅となり、以降物流のみならず旅人や風景を楽しむ人々で隆盛を極めた地で、こ



の繁栄を物語る史料、工芸品、建造物等が残されている。そのほか明治10年には米人動物学者エドワード・モース博士によって発見された縄文後期の遺跡「大森貝塚」は日本の考古学の出発点として国の史跡にも指定されている。

まず「品川歴史館」は昭和60年に開設された郷土資料の保存と活用を目的に開設された。1階の常設展示コーナーには東海道第一の宿場として栄えた当時の街並みや生活様式、往来する人々などが多くのジオラマで表示されている。またパソコンで(品川宿に関連の)広重や北斎等の浮世絵が閲覧できる。

2階には「モース博士と大森貝塚」コーナーがあり、出土した多くの遺品、遺構などが展示されている。展示されている土器は製法が異なる2種類。土師器と呼ばれひも状の粘土を巻き上げて形成し、焼き上げたもの(主に茶褐色)と、製法が朝鮮半島から渡来した須恵器。ロクロを使用して成形し表面に

炭素を吸着させ1,000度以上の高温で焼き上げたもの、などが展示されている。

そのほか館に隣接した日本庭園の隅には同所の近くにある「大井鹿島遺跡」で発見された竪穴式住居跡が再現されている。土間には4カ所に柱跡と思わ

れる穴があり、住居の周辺には雨水の浸入を防ぐ溝が施され、また煙を伴った竈(かまど)も再現されている。

午後から「しながわ水族館」に。区民公園の一角あり、バンドウイルカのショーを楽しむ。

体長4~5メートルのイルカが水の抵抗を利用して体長以上にジャンプするさまは、同じ水の抵抗を利用するシンクロナイズドスイミングと比べ、如何に彼らの運動能力が高いかに驚くばかり。ところで皆さん、イルカの体温をご存知ですか、またどこで測るか?

以上の記述以外では順路近くの「大森貝塚史跡庭園」と「鈴ヶ森刑場跡」に立ち寄った。打ち上げはJR品川駅2F「エキナカ」で喉を潤し、16時過ぎに無事解散した。次回は新緑の時期に奥多摩方面などを候補に考えています。いずれ詳細案を検討し、ご案内する予定です。

今回の参加者は以下の8人の方々です(敬称略)  
芦沢友雄、岡田文男、川島義幸、中野慶子、掘 龍之介、舞木孝治、村上 勉、石倉 毅

(各同好会の代表者と連絡先)

囲碁・将棋：	大谷 暢廣 042-481-0202	社交ダンス：	元木 勇 03-3300-4554
	早川 政夫 042-487-9610	太極拳：	中野 完二 042-485-0523
カラオケ：	小笠原 忠八郎 042-481-6867	麻雀：	濁川 寿次 042-483-6966
硬式テニス：	山本 建治 042-482-6049	ワングル：	石倉 毅 042-487-4750
ゴルフ：	安松 董矩 042-488-5726		天野 凡子 042-480-2503
フラダンス：	大谷 裕子 042-485-7489	食・歩会：	山田 和子 042-488-0741

平成 25 年度調布稲門会年会費お払込のお願い

会計担当 石井 宏和

調布稲門会の平成 25 年度会計期間が平成 26 年 3 月 31 日で終了となりますので、年会費をまだお払込でない会員の方は至急お手配の程、お願い申し上げます。紺碧・新年号をお届けした際に、郵便払込票

が同封されていた会員の方は、平成 25 年度の年会費未納の会員です。お調べのうえ、平成 26 年 2 月末日までにお払込頂きますようご協力よろしくお願い申し上げます。

会員情報—12 人の方が新規入会

2013 年 5 月の総会以降、課題になっている会員増強策に一段と積極的に取り組んだ結果、12 人の方が新規入会されました。12 人の方の内訳は会員 8 人、準会員 4 人です。今回も調布市在住の未加入校友約 500 人にダイレクトメールを送るなど会員獲得策に

力を入れた成果です。昨年 12 月 15 日現在、調布稲門会の会員数は会員 183 人、準会員 34 人の計 217 人になりました。

2014 年度も引き続き会員増強のための対策に力を入れていく方針です。

新会員の氏名、卒年・学部、加入時期は下記の通りです。(敬称略、入会順)

山本多恵子 (準会員、山本建治会員) 2013 年 6 月  
池澤 辰夫 昭 27 理工 2013 年 7 月  
須貝 清則 平 14 法 2013 年 7 月  
野崎 英彦 平 22 政経 2013 年 7 月  
野崎久美子 (準会員、野崎英彦会員) 2013 年 7 月  
橋本 健午 2013 年 7 月  
野沢 常康 昭 31 商 2013 年 7 月  
花村 昌彦 昭 39 理工 2013 年 8 月  
花村紗智子 (準会員、花村昌彦会員) 2013 年 8 月  
山形 純夫 昭 43 理工 2013 年 8 月  
山形伊都美 (準会員、山形純夫会員) 2013 年 8 月  
瀧田 潤 平 9 商 2013 年 9 月

(今年前半の主な行事日程)

2014. 2. 22 (土) 調布稲門会 新年会 (於：調布クレストンホテル)  
2014. 5. 25 (日) 調布稲門会 第 33 回総会 (於：調布たづくり会館)



野川のかわせみ（調布市内にて、高原浩撮影）

<編集後記>

今第39号から編集責任者が交代しました。2011年6月の第34号から2013年6月の第38号まで2年余、若い力で健闘して下さいました吉田忠洋さん（平19院ア太）がお仕事の転勤の関係で退任され、代わって五十嵐眞さん（昭37理工）と私、高原浩（昭44法）の2人が担当することになりました。吉田さんのこれまでのご尽力に謝意を表します。なお五十嵐さんが紺碧の編集を総括し、高原が具体的な編集実務を担当します。微力ですが、どうぞよろしくお願い致します。今後は「紙面の活性化」にも皆さんと一緒に考え取り組んでいきたいと思ひます。また引き続き原稿・写真の出稿で、皆さんの積極的なご協力をお願い致します。今回は石井宏和さんから東京国体開会式のカラフルで素晴らしい写真を提供して頂きました（高原記）

『紺碧』原稿受付eメールアドレス：[h-takahara@almond.ocn.ne.jp](mailto:h-takahara@almond.ocn.ne.jp)

<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 <b>株式会社住まいるスズキ</b> 代表取締役 鈴木光孝 〒182-0023 東京都調布市染地三、五、六五 電話 〇二二〇・〇八〇・二四二</p>	<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 <b>元祖 嶋田家</b> 住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町五、十二、十 電話 〇四二・四八二・三五七八 FAX 〇四二・四九九・六六五五</p>	<p><b>桜田倶楽部</b> 東京テニスカレッジ 会長 <b>秋山 一</b> 住所 〒182-0017 昭和22政経卒 東京都調布市深大寺元町二、三二、一 電話 〇四二・四八二・三二〇九</p>	<p>展望レストラン <b>たづくり</b> 調布氏文化会館たづくり12F 東京都調布市小島町二、三三、一 電話 〇四二・四四一・一六二二 <a href="http://www.shinsenguni.com/">http://www.shinsenguni.com/</a></p>
<p>宿泊・宴会・婚礼 <b>調布クレストンホテル</b> 住所 〒182-0026 調布市小島町一、三八、一 調布ハルコ810F 電話 〇四二・四八九・五〇〇〇 FAX 〇四二・四八九・二〇六 <a href="http://www.crestonhotel.jp">http://www.crestonhotel.jp</a></p>	<p>早稲田大学商議員 <b>早稲田大学調布稲門会</b> 会長 <b>元木 勇</b> 自宅 〒182-0003 調布市若葉町二、二二、一〇 電話 〇三・三三〇〇・四五五四(代) FAX 〇三・三三〇〇・八七二八</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山田屋本店</b> 代表取締役社長 <b>秋 沢 淳 雄</b> 住所 〒182-0024 東京都調布市布田三、一、一 電話 〇四二・四八二・四五八五 FAX 〇四二・四八二・四五七二</p>	<p><b>林建設株式会社</b> 取締役社長 <b>林 清 一</b> 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町二、五六、三 電話 〇四二・四八六・一一一一 FAX 〇四二・四八六・一一二〇</p>